



令和7年4月9日発行

# 学校だより

第1号

江戸川区立松江第三中学校

〈 教育 目 標 〉

- 1 素直で明るい、心豊かな生徒を育てる
- 2 自ら進んで、よく学びよく働く生徒を育てる
- 3 責任を重んじ、正義と規律を尊ぶ生徒を育てる

## 新年度の始まりです

校長 小澤 託

松江第三中学校に着任し、2年目となります小澤託(おざわたく)と申します。どうぞよろしくお願いいたします。保護者、地域の皆さまのご支援とご協力をいただきながら、今年度も教職員一丸となって頑張っていきたいと思っております。

年度の始まりである4月1日に転入・復帰してきた教職員を加え、7日(月)の着任式・始業式をもって一学期が始まりました。そして、8日(火)の入学式にて88名の新入生を迎え、全校生徒367名、教職員31名の令和7年度の松江第三中学校がいよいよ動き始めたというところです。心なしか、決意を新たに頑張ろうと目が輝き、気の引き締まった顔つきの2・3年生が多いように感じました。一見して、そのように感じられるということは、非常にうれしいことです。目は口ほどに物を言う、という言葉がありますが、まさに今の気持ちが表れているのでしょうか。最上級生になる3年生が三中の顔として学校を引っ張り、先輩となる2年生が新入生を温かく支えてくれることを期待しています。新入生はもちろん、入学式の様子から、これから始まる中学校生活に心躍っている感じが伝わってきました。ぜひ、たくさんのことを学んでほしいと思います。

さて、年度の始まりである4月は、様々な企業や事業所などと同様に、学校も一年の始まりである1月よりも大事な節目と捉えることが多い時季かもしれません。この大きな節目となる時に、ぜひ行ってもらいたのが、“1年間の目標を立てること”です。皆さんもよく聞く言葉だと思えます。「決意」、「決心」、「覚悟」などがそれにあたるでしょうか。

大きな目標でも、小さな目標でもいいのです。一年間、これをやりきる!という「決意」、「決心」、「覚悟」があれば、人は努力できるものです。逆に、何の「決意」、「決心」、「覚悟」もなければ、何事もない(何も考えない)一日を過ごしてしまい、何の成長も進歩もない一年になってしまいます。他の人に向かってするものではなく、自分(自らの心)に向かってするものですから、ぜひそれぞれの「決意」、「決心」、「覚悟」を立ててください。(あえて口に出したり、文字にしたりすることもあります。人それぞれで良いと思っています。)

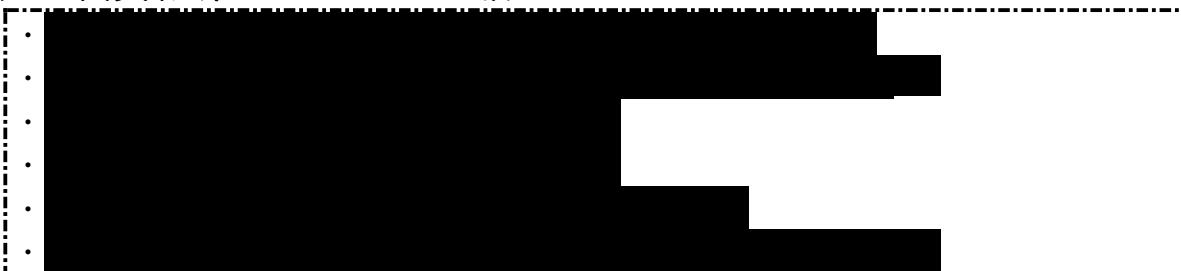
一年間やりきることは、決して簡単なことではないでしょう。どちらかというと難しいことだと思えます。しかし、やりきったときに、人としての成長が必ずあると私は思います。

**「過去と他人は変えられない。しかし、未来と自分を変えられる」**

輝く未来がある生徒の皆さん!

自分を変える一歩を踏み出す春にしましょう!

転入職員紹介 よろしくお願いたします



教職員紹介 | 年間全力で頑張ります よろしくお願いたします

[Redacted text block]